

第1章 都市づくりの理念と目標

1-1 都市づくりの理念

本市における都市づくりの基本的な考え方を示すため、上位計画である「岐阜市未来のまちづくり構想」及び前章での整理課題を踏まえ、「都市づくりの理念」を定めます。

岐阜市未来のまちづくり構想

岐阜市の将来像 **人がつながる 創造が生まれる しなやかさのあるまち**

- 都市づくりの基本的な考え方
- オール岐阜のまちづくり
 - シビックプライドの醸成
 - DXと脱炭素化
 - 持続可能で選ばれるまち

都市づくりの理念

**豊かな自然と歴史・文化に恵まれ、快適でコンパクトな市街地が互いに連携した、
健やかに住み続けられる活力あふれる県都**

都市づくりの課題

- | | |
|-----------------|---------------------|
| ①集約型都市構造の推進 | ④自然環境や歴史・文化などの保全と活用 |
| ②総合的な交通体系の構築 | ⑤災害に強い安全・安心の都市づくり |
| ③中心市街地の活性化、産業振興 | ⑥協働のまちづくりの推進 |

1-2 都市づくりの目標

理念の実現のため、5つの目標を定め、都市づくりを進めます。

目標1 まとまりのある市街地と



公共交通を軸とする交通体系が連携する都市

人口減少社会に対応した持続可能な都市とするため、拠点を中心に土地利用が行われるまとまりのある市街地が、公共交通を主要な手段とする誰もが移動しやすい交通体系で連携する都市構造の形成を進めます。

目標2 交流促進による活力とにぎわいのある都市



未来につながる活力とにぎわいのある都市とするため、広域交通網を活用した新たなものづくり産業拠点の形成やまちなか観光の推進などに取り組みます。

中心市街地では、土地の高度利用やまちなか居住の推進のほか、交流を生む空間形成に取り組み、活性化を図ります。

目標3 都市の魅力を高める美しい景観・環境が



維持・創出された都市

美しく岐阜らしい景観や快適な都市環境を維持・創出するため、長良川や金華山など岐阜を代表する自然環境の保全や田園環境の保全を図るとともに、岐阜の成り立ち・歴史文化など、地域の特色を活かした都市空間整備を進めます。

目標4 災害に強く、安全・安心で居住環境の整った都市



大規模自然災害に対応するため、災害に強い都市基盤整備などのハード対策と、避難体制の強化などのソフト対策を進めます。

目標5 まちづくりの担い手の育成と、市民協働によるまちづくり



都市の活力や魅力を高めるための取組を効果的・効率的に展開できるよう、まちづくりに関する市民などとの共通認識を構築するとともに、協働まちづくり体制を育成・確立し、計画づくりから施設の整備、管理に至るまで、市民などが積極的・継続的に参加するまちづくりを進めます。

今後の本市の都市づくりのなかで、国際社会全体の普遍的な目標である SDGs について、特に都市計画に関連すると考えられる 9 つの目標を中心に、その達成を目指して取り組みます。



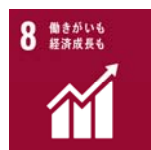
目標 3（保健）
あらゆる年齢のすべての人々の健康的な生活を確保し、福祉を促進する



目標 6（水・衛生）
すべての人々の水と衛生の利用可能性と持続可能な管理を確保する



目標 7（エネルギー）
すべての人々の、安価かつ信頼できる持続可能な近代的エネルギーへのアクセスを確保する



目標 8（経済成長と雇用）
包摂的かつ持続可能な経済成長及びすべての人々の完全かつ生産的な雇用と働きがいのある人間らしい雇用を促進する



目標 9（インフラ、産業化、イノベーション）
強靱なインフラ構築、包摂的かつ持続可能な産業化の促進及びイノベーションの推進を図る



目標 11（持続可能な都市）
包摂的で安全かつ強靱で持続可能な都市及び人間居住を実現する



目標 13（気候変動）
気候変動及びその影響を軽減するための緊急対策を講じる



目標 15（陸上資源）
陸域生態系の保護、回復、持続可能な利用の促進、持続可能な森林の経営、砂漠化への対処、ならびに土地の劣化の阻止・回復及び生物多様性の損失を阻止する



目標 17（実現手段）
持続可能な開発のための実施手段を強化し、グローバル・パートナーシップを活性化

1-3 将来の市街地規模

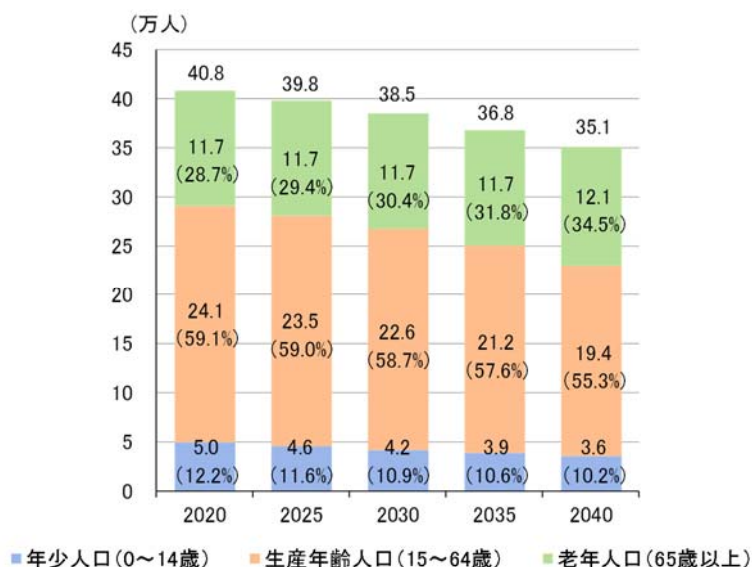
1) 将来人口の見通し

本市の人口は、今後も減少を続けると予想されます。

本計画では、岐阜市未来のまちづくり構想での推計結果をもとに、2040 年における将来人口を約 35.1 万人とします。

2040 年における将来人口：35.1 万人

【人口の将来推計（再掲）】



資料：2020 年は住民基本台帳（4 月 1 日時点）、2025 年以降は岐阜市推計

2) 将来の市街地規模の考え方

今後の人口減少に対応したコンパクトな市街地としていくため、適正な市街地の規模を維持することとし、市街化調整区域における市街地の拡大につながる新たな住宅地の整備や商業施設などの立地を目的とする開発については抑制します。

ただし、将来に向け持続可能な活力のある都市としていくため、東海環状自動車道インターチェンジ周辺などにおいては、無秩序な市街化を抑制しながら計画的な整備を行い、地域のポテンシャルを活かし新たなものづくり産業拠点や学術・研究拠点などの形成を図ります。